

第21回おのみち100km徒歩の旅  
事業報告会アンケート集計《設問9》

設問9 (日常生活において、子どもさんの変化があればお書きください。)
自分のことを自ら進んでするように以前よりなりました。
自分のしたい事について、自分でやると言いだした。
特に変化というのは感じないが、時々思い出したかのように、「あっ、ここ歩いた」とか、「おの100で〇〇した」とか「ごはんがおいしかった」とか話してくれるので全く記憶に残っていないわけではないことに安心している。
自分に自信がもてるようになった気がします。テーマソングがとても好きなようです。時々口ずさんでいます。
今のところ、大きな変化は感じられませんが、この夏はとても充実した夏になったようです。
手伝い等、気遣いができるようになった。
直後は食器洗いが面白かったから家でもやると言っていたのですが、食器の量を見て、多いからやめた！と言っていました。歩くことは以前より苦にならなくなったように見受けられます。
大人のそばにいる事を好む子でしたが、子ども達の輪に入っていく回数が増えたように思います。
たくましくなりました。
少しお手伝いを進んでしてくれる事が増えた。
今年は班長として、また、参加児童代表としてのあいさつなど大役を任されたこともあり、より一層自分自身の自信につながっているようでした。今年目標であった、積極的に人と関わるということも出来たようです。来年はポウ研として、ゆくゆくは団長補佐までいくのが今の目標だそうです。
100km歩いたことで自分に自信がますます出てきたように思います。
数日は本当に夜寝るのがとっても早かったです。
目に見えての変化はありませんが、行ってきて少したくましくなったように感じます。
ありません。
帰宅した日は「ありがとう」の感謝の言葉にびっくり、でも翌日から、普段通りになりました。「100キロ歩いた。だから体力はある。」と完歩は自信になった様です。
帰宅してからは私のスマホでユーチューブ、ゲームでした。でも、時間が経つにつれ、自発的に動いたり、配膳の手伝いなどしてくれるようになりました。
自分から動くようになったかな。
恥ずかしがり屋な子ですが、班のみなさん、リーダーさんをはじめ多くの方に支えてもらい過ごす中で、いつもと違う日常に自分からも発信していくことの大切さを学んだかなと思います。自分から話すことも増えたように思います。
完歩直後は実に良い表情、頼もしい、自信に満ちた表情をしていました。親兄弟と再会すると若干元に戻り、甘えた末っ子の顔に戻りましたがそれでも他人への依存が少しずつ減り、自分を持ってきている様に思います。

## 事業報告会アンケート集計《設問9》

### 設問9

(日常生活において、子どもさんの変化があればお書きください。)

(良い意味で)親の言うことを聞かなくなった。  
たとえば親が「お風呂に入って。」と言うと、「今、〇〇をしてるから、一段落ついてから入る。」とか、自分で考えて動けるようになった。

少し自信がついたように思う。  
100kmを実感したことで、大変さが分かり、話す言葉が少し変わったと思う。例 鳥人間コンテストのTVを見ていて、興味深く「60kmとんどる！めっちゃすごいじゃん！足だと2時間で60kmなんじゃけーめっちゃはやい！」と言って応援しました。

自ら計画的に生活出来るようになったと思います。

車で移動すると、「もう10km！もう50km移動できた」と毎日言っている

特に変化はありませんが、帰ってきた日は、普段無口な息子がしゃべりっぱなしでした。

自信ができました。  
「ありがとう」が自然に出てくるようになりました。  
行ってよかった！と言い、友達にもススメております。習い事の先生からも、おの100後とって  
も前向きになったとのお声をいただきました。

以前は自信がないと、もによもによと相手に届かないくらいの声でしか話さない時もあったけれど、今ははっきりした声で疑問などを出していけるようになった。  
時間を意識して少し動けるようになった。  
前よりも私の家事に気づいて手伝おうかと声をかけてくれるようになった。  
いただきますがいただきマンモスになった。

家族や近所の人に大きな声で話すようになった。「がんばったらいつかは終わるよ」とはげましてくれるようになった。  
自分のいやなことを我慢してまでしなくなった。その結果言い合いになる。どちらも意見を曲げないので。

夏休みの間だけかもしれませんが早起きの習慣が身について朝1人でラジオ体操へ行っていました。  
自信を持ったのだと思います。声が大きくはっきりと話をする様になったと感じます。

周りに目を向けられるようになった。

以前よりも、家事の手伝いをする様になったような気がします。

去年もそうでしたが、100km完歩したというのにまったくつかれ知らずで。家に帰っても変わらない子どもでした。

少しですが「歩いた」という自信がついて何事も堂々としている。

買い物で長時間歩くことがあり、以前なら“だるい”“帰りたい”と言っていたのですが、けっこうな時間歩くことができびっくりしました。

早寝、早起きを意識して行動するようになった。面倒な事に対して、自発的に行動できるようになった。誰のために、何のためにやっているのかを多少は理解できるようになった。

物事を自分でしっかりと判断できるようになった。

参加前よりも、こちらが声をかけなくても自分で行動してくれることが少し増えました。また、早起きがすっかり習慣となり、今でも5時台に起きるようになりました。

## 事業報告会アンケート集計《設問9》

設問9 (日常生活において、子どもさんの変化があればお書きください。)
友だちの家にはじめて泊まりに行けました。小さなことですが、他人と積極的にかかわれるようになった気がします。
周りの方へ優しくなった。親切的な行動がとれるようになった。
特に大きな変化はありませんが、100km完歩したことは自信につながったようで、何に対してもやってみようかな、というような前向きな姿勢が見られます。
少しの間早起きだった。
勉強が分からないと、泣き言を言って努力をしなかったり、海などで親の近くから中々離れられないなど、変わらない所が一杯ですが、「100km歩ききったんだぜ」という自信や自慢が口をついて出てくることがあり、その気持ちがお守りになっているようです。
目立つ変化はないが、かなり甘えん坊だったのが、ほんの少し、しっかりしてきたように感じる。
朝、自分で起きてくる日が増えた。
目標に向かってやり抜く力がついてきた。自然の感謝の気持ちが出せるようになった。コミュニケーションのとり方(年下)が上手になった。
何気ない日常に「ありがとう」と感謝できるようになったと思う。完歩の証の三度笠とTシャツを部屋に飾って、時々眺めて完歩した自信を実感しているようだ。
目立った変化はありませんが、私が気づいていない内面的な何かが成長しているのだと思います。
すぐに「疲れた」「しんどい」「俺、体力ないし」とログセのように言っていたのが、自信がついたようで、あまり弱音を吐かなくなった。
目に見える変化がありません。
自分から率先して手伝いをするようになった。
お手伝いをしてくれる様になった。
特にないです。
特に大きな変化は目に見えるところではありませんが、本人の中では歩く前と歩ききった後、確実に違っていると思います。
今年はおの100で「途中であきらめない」と目標をもって参加をしました。何か目標を持って頑張った後に達成感を感じるこのうれしさを今回のおの100で実感したようです。日常生活に大きな変化はないけれど、夏休みの読書感想文の本を自分で選んで買ってきて目標を持って頑張っていたので、何でも自分で目標を見つけて頑張れるようになったのは、とても成長したなと思いました。
今まで自分の事をあまりはなさなかったのですが、おの100後いろいろ自分のおもいをはなしてくれるようになりました。
コンビニおにぎりが、食べられるようになりました！